

免疫寛容してアトピーが完治しましたが

新たな化学物質によりアトピーを発症され再受診された方。

「自分の免疫を信じて」 松永萌 26歳

2017年4月15日

松本医院にお世話になり、4年前に手のアトピーが完治しました。2012年4月、バイト先での水仕事により右手中指の内側が荒れてひび割れ、しばらくするとその周りに小さな水疱が沢山出来始めました。水疱の出来た箇所は日に日に痒みが増していき、掻き始めると水疱の範囲はどんどん広がって行きました。痒くてたまらず、夜も眠れない日々でした。次第に全ての指、手の甲までアトピー（手湿疹だと思っていたのですが、後に松本先生から手湿疹もアトピーだと言われました）は広がり、ここで初めて大阪に住む親戚の勧めで松本医院を訪れることになりました。

2012年5月のことでした。免疫をあげるため煎じ薬（漢方）を処方していただき飲み始めると、その日から地獄のような日々が始まりました。（笑）煎じ薬を始めた翌日から痒さは増し、赤いぶつぶつも腕の方まで上がってくるようになり、たまらない痒さで一日中掻きむしりました。先生は、「痒いのは自分の免疫が化学物質と闘っている証拠。沢山掻いて良い。」と言ってくれたので、我慢せず思いっきり掻くことができました。時には漢方風呂に入ったり手だけを浸けることにより少し楽になったりもしました。痒みにプラスして、ヘルペスのピリピリした痛みも手全体に感じるようになり、アシクロビルを飲みながらの漢方治療となりました。夜は綿の手袋をして寝ましたが、夜中に掻き始めることで浸出液がだらだらと出て、手袋はびしょびしょになるため、途中で起きて新しい手袋に変えたりもしていました。痒さで寝付けない辛い日々だったのを覚えています。

しかし、漢方を始めて2週間で、私の手は免疫寛容を起こしたのか痒みはなくなっていき、日に日に綺麗になって行きました。掻いた傷の痕が消えるのには少し時間がかかりましたが、それでも確実に元の肌の状態に戻っていくのが分かりとても嬉しかったです。それも、ステロイドなどの免疫抑制剤を使ったりせず自らの免疫で闘ったからこそだと思いますし、松本先生にはとても感謝しています。もし、皮膚科に行きステロイドを処方されていたら、今でもアトピーに苦しみ悪化し、悲惨なことになっていただろうと怖くもなります。松本医院を勧めてくれた親戚、辛い日々を支えてくれた家族にも感謝の気持ちでい

っばいです。

治ってから4年間、素手で何を触っても全く問題がないくらい快適な生活を送っていましたが、最近結婚したのを機に水仕事が急に増え、右手にまた少し湿疹が出来始めました。そのため現在、また松本医院で漢方を処方してもらい治療を始めるところです。前回治ったことが自分の自信になっているので、今回も自分の免疫を信じてまた完治するよう頑張っていきたいと思います。松本先生またお世話になりますがよろしくお願いします。

松本医院受診後の変化



